

# 令和元年度 神奈川県社会環境実態調査結果<概要>

## 1 調査の趣旨

この調査は、青少年の健全育成に影響の大きい各種営業の実態を明らかにし、青少年行政を進める上での基本データを収集することにより、地域の青少年を取り巻く社会環境の健全化の取組に役立てるため、県と市町村が連携して行っているものです。

令和元年度は、インターネットカフェ・まんが喫茶、複合店等を対象とし、主に7月から9月までの期間に、地域の青少年指導員や行政職員が店舗を訪問して調査を行いました。

## 2 主な調査結果

- インターネットカフェ・まんが喫茶については、調査店舗 81 店のうち、全店（100%）で 24 時間営業をしています。条例で定める「18 歳未満深夜立入禁止の表示」は、80 店（98.8%）で実施されています。努力義務である「フィルタリング等の措置」は、その他の方法を含めて 62 店（76.5%）で実施されています。
- 複合店等については、248 店中 116 店で書籍・雑誌の有害図書類等<sup>※1</sup>を取り扱い、そのうち 81 店（69.8%）で区分陳列が行われています。また、映像ソフト（DVD 等）の有害図書類等については、173 店で取り扱い、そのうち 136 店（78.6%）で、区分陳列が行われ、Z 区分ゲームソフト<sup>※2</sup>については、155 店で取り扱い、そのうち 116 店（74.8%）で区分陳列が行われています。
- なお、条例で定める「18 歳未満への販売・貸し付け等禁止の表示」を設置している店舗は、それぞれ 106 店（91.4%）、166 店（96.0%）、143 店（92.3%）となっています。

※1 有害図書類等：条例で定められている有害図書類の他に成人向け図書類も含む。

※2 Z 区分ゲームソフト：国内で販売される家庭用ゲームソフトを審査している CERO（特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構）が定めた年齢区分マークで、青少年には販売しない取扱いとなっているゲームソフト。

## 3 インターネットカフェ・まんが喫茶調査結果

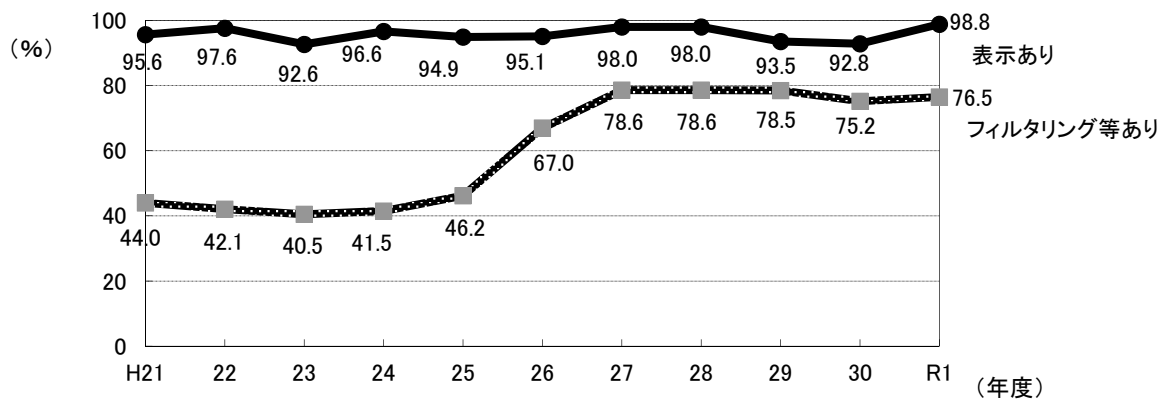
（平成 18 年調査開始）

■ 調査実施店舗数 81 店

■ 主な調査項目

項目	調査内容	店舗数	割合	30 年度	29 年度
条例に基づく措置	18 歳未満深夜立入禁止の表示がある	80	98.8%	92.8%	93.5%
	フィルタリング等の措置をしている	62	76.5%	75.2%	78.5%
客席の状況	ペアシートがある	76	93.8%	89.7%	89.2%
	個室内部が外部から見通せる	48	63.2%	73.6%	81.9%
	個室に鍵がない	51	67.1%	80.5%	75.9%

■ 条例に基づく措置「深夜立入禁止の表示」「フィルタリング等の措置」を行っている割合の推移



4 複合店等（複合店、古書店、映像ソフト取扱店、ゲームソフト取扱店）調査結果（平成18年調査開始）

■ 調査実施店舗数 248 店

■ 主な調査項目

項目	調査内容	店舗数	割合
有害図書類等 (書籍・雑誌)	取扱いあり	116	46.8%
	区分陳列がされている	81	69.8% <sup>※</sup>
	18歳未満への販売・閲覧等禁止の表示がある	106	91.4%
有害図書類等 (映像ソフト)	取扱いあり	173	69.8%
	区分陳列がされている	136	78.6% <sup>※</sup>
	18歳未満への販売・閲覧等禁止の表示がある	166	96.0%
Z区分ゲームソフト	取扱いあり	155	62.5%
	区分陳列がされている	116	74.8% <sup>※</sup>
	18歳未満への販売・閲覧等禁止の表示がある	143	92.3%

※複合店：書籍・雑誌、映像ソフト、ゲームのうち2種類以上の取扱いがある店舗

※区分陳列の有無が不明の店舗を母数に含めない場合は、書籍・雑誌 81.0%、映像ソフト 90.1%、Z区分ゲームソフト 87.2%